



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

がい よう ばん
概 要 版

第3次八幡市環境基本計画



はじめに

地球環境を取り巻く状況は大きく変わってきています。私たち人間の活動が増えることで、地球環境への負担は大きくなり、地球温暖化、生物の絶滅、ごみの問題などが深刻になっています。これは、私たちが住む八幡市にも影響があることです。この経済や社会とも複雑にからみ合った環境問題を解決するため、様々な取組を進めていくことが必要です。

八幡市環境市民ネットの地球レンジャーのなかま「まもるくん・エコちゃん」と一緒に、八幡市の環境についてよく知り、これからの行動を考えてみましょう。



八幡市環境基本計画とは

八幡市の豊かで良好な環境を守り育てるため、地球環境、生活環境、自然環境、環境活動などの基本的な方向性を決めたものです。八幡市の環境の状況や、環境を良くするために市が取り組んでいくこと、みなさんができることなどをまとめています。この計画で掲げたことを、それぞれが自分からできることに取り組んでいくこと、お互いに協力しながら力をあわせていくことが大切です。



SDGs (持続可能な開発目標)

環境、経済、社会それぞれの課題を解決し、持続可能な社会を作るために達成する必要がある2030年までの国際社会全体の目標がSDGsです。

「地球上の誰一人として取り残さない」ことを理念に、一人ひとりが行動を変えていけるよう、持続可能な社会づくりに必要な知識と能力をつけることが必要です。

環境基本計画のもと取り組んでいくことで、関係するSDGsも同時に達成することを目指しています。



●関連するSDGsの一例

6 安全な水とトイレを世界中に
だれでも安全な水とトイレが使える

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
だれでも自然の力で作るエネルギーを使える

13 気候変動に具体的な対策を
気候の変化による影響を少なくする

14 海の豊かを守ろう
海の自然と生きものを守る

3 すべての人に健康と福祉を
ずっと健康で生きられる

12 つくる責任 つかう責任
資源をムダ使いせずものを作る、使う

15 陸の豊かさも守ろう
陸の自然と生きものを守る

4 質の高い教育をみんなに
だれでもしっかりとした学びができる

11 住み続けられるまちづくりを
ずっとくらす安心安全なまちに

17 パートナリシップで目標を達成しよう
みんなで目標のために力をあわせる

望ましい環境像と基本方針

八幡市の環境を良くするための目標となる、望ましい環境像(環境のすがた)を描きました。
その実現に向かって、5つの基本方針(目指す方向)のもとで、子どもから高齢者まで、市民・事業者・行政みんなで、力をあわせて取り組んでいくこととしています。

八幡市がこんなまちになるといいな…



人と自然が共生し みんなで創る持続可能なまち

人と自然がなかよく ずっと暮らしていけるまちをみんなでつくっていこう

実現するための5つの基本方針

基本方針1

脱炭素社会に挑戦するまち

地球温暖化を防ぐために、二酸化炭素を出さない快適な暮らしができるまちを目指します。

基本方針2

人と自然が共生するまち

きれいな水と豊かな緑に恵まれた、様々な自然を守り、人と自然が上手に仲良く暮らすまちを目指します。

基本方針3

ごみを減らし資源が循環するまち

地球にある限られた資源を守るために、ごみを減らしたり、リサイクルを進めていきます。

基本方針4

安心で快適に住み続けられるまち

誰もが安全で快適な暮らしができ、安心していつまでも暮らしたいと感じられるまちを目指します。

基本方針5

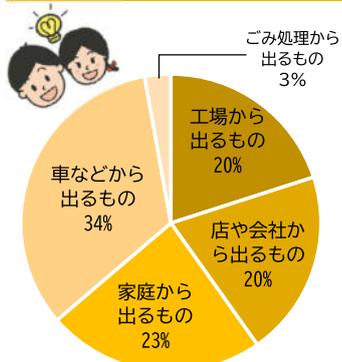
みんなで取り組む環境活動のまち

市民・事業者・行政が環境について勉強したり環境を守ることに取り組んだりし、将来の世代に豊かな環境を伝えていくまちを目指します。

脱炭素社会に挑戦するまち



地球温暖化を防ぐために、二酸化炭素を出さない快適な暮らしができるまちを目指します。



八幡市の二酸化炭素排出量 (2018年)

石炭や石油などの化石燃料を大量に使うと、大気中の温室効果ガス（地球をあたためてしまうガス）が増え、地球全体の平均気温が上がります（地球温暖化）。地球温暖化が進むことで、猛暑や大雨などの異常気象や作物への被害など、自然や暮らしに大きな影響が出ます。この温室効果ガスを減らすため、様々な対策を進める必要があります。

八幡市から出される、温室効果ガスの中で最も影響が大きい二酸化炭素の排出量は、車や家庭などから出る分が多くなっています。どんな取組をすれば、二酸化炭素は減るのでしょうか？

市が取り組むこと

- 1 省エネ
- 2 再生可能エネルギー
- 3 まちづくり
- 4 気候変動適応

住宅や事業所や公共施設の省エネルギー化を進めます。また、クールチョイス運動などで省エネ行動を広げます。

再生可能エネルギーの導入を進めます。また、蓄電池※を活用し、停電のときにも対応できるようにします。

電車・バスなどの公共交通や自転車などの利用を進めます。また、夏の暑さがやわらぐようなまちづくりを進めます。

災害対策や熱中症予防など、気候の変化による影響をできるだけ少なくするように対策を進めます。



「打水大作战 in やわた」
夏に、道や庭先などに
雨水や再利用水をまいて涼しくします。

※蓄電池：充電して繰り返し使える電池のこと

電気やガスなどのエネルギーのムダづかいを減らせるか調べ、省エネを進めよう。



自宅や学校などでグリーンカーテンにチャレンジして夏の白差しを防ごう。

ゴーヤなら、ずずしいだけじゃなくて、実も楽しめるよ!

行動しよう!

通勤・通学には自転車・電車・バスを使うなど、車の利用をなるべく減らそう。



太陽光発電などの再生可能エネルギーについて学ぼう。

ごみを減らし資源が循環するまち

地球にある限られた資源を守るために、ごみを減らしたり、リサイクルを進めていきます。



出典：経済産業省ホームページ

八幡市で1人が1日に出すごみの量は810g（リサイクルできるものを含む）です。ごみを減らしていくためには、3R（スリーアール）の取組が大切です。

家庭から出のごみの中には、本来食べられるのに、捨てられてしまっている食べ物もあります。これを「食品ロス」と言います。食べ残しや、皮を厚くむきすぎる、賞味期限切れなどで捨ててしまうことなどが原因です。

日本の食品ロス量は年間 570 万トン、大型トラック（10トン）で1日、約1,560台分にもなります。ごみを減らすことにつながる毎日の暮らしを考えてみませんか？

市が取り組むこと

5 **ごみの減量と再使用**

ごみを減らし、再使用することで、環境負荷の少ない循環型社会をつくります。特に、最近問題となっているプラスチックごみと食品ロスについて、問題解決に取り組めます。

6 **資源の循環利用とごみの処理**

家庭や企業から出のごみを資源として利用したり、ごみを適切に処理することで、環境への負荷が少ない社会づくりを進めます。



資源の分別回収

缶、ビン、ペットボトル、プラマーク製品、古紙、食用廃油、小型家電などを回収し、資源として再利用。

食べ残しをしないなど、食品ロスを減らそう。

なるべくゴミが出ないように調理しよう！



食べのこしをなくそう！



繰り返し使える、長く使えるものを買うようにしましょう。

とても長持ちする、LEDの電球



じゅう電して何度も使える電池



行動しよう！



マイバッグ、マイボトルを持ち歩くようにしましょう。



スーパーマーケット

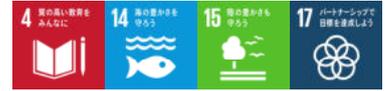


あきかんはリサイクルできるね！



ごみと資源として使えるものを分別してリサイクルを進めよう。

ひと しぜん きょうせい
人と自然が共生するまち



きれいな水と豊かな緑に恵まれた、様々な自然を守り、人と自然が上手に仲良く暮らすまちを目指します。



市内には、男山などの緑、木津川・宇治川・桂川などの河川、田畑、公園・緑道などの豊かな自然が残り、様々な生き物がすんでいます。地域にもともと住んでいる生き物（在来種）も多く、2016年に市が行った生きもの調査では、絶滅が心配されるカヤネズミなどの貴重な生き物も確認できました。しかし、外国からやってきて在来種に被害をあたえる生きもの（特定外来生物）もみついています。在来種を守り、生き物がすみやすい環境にするためには、何ができるでしょうか？



絶滅が心配されているカヤネズミは、体長6cmほどの、日本で一番小さなネズミです。



特定外来生物のアライグマ

市が取り組むこと

7 生物多様性の保全

自然の恵みを将来も受けられる自然と共生したまちとなるよう、多様な動植物が生息・生育できる環境を守り育てます。

8 人と自然のふれあい

自然環境の大切さを知り、環境への意識が高まるよう、身近な自然とふれあえる場や機会をつくります。



【第2回やわたのまちの小さな仲間たちフォトコンテスト】大賞作品「お散歩中、ぼくだーれだ！」

市内の生き物図鑑『やわたのまちの小さな仲間たち2016』を発行。野生の生き物をテーマにしたフォトコンテストも開催。

庭の植物や公園の緑、花壇など、身近にある自然を大切にしよう。



背割堤は、春に桜がたくさん咲くよ！



男山などの緑や河川沿いなどを歩いたり、サイクリングしたりして自然を感じよう。

行動しよう！

自然観察会や農作物の収穫体験などに参加してみよう。



八幡では、いろんな野菜がとれるんだよ！

地元でとれた旬の野菜や農作物を美味しく食べ、自然の恵みを感じよう。



安心して快適に住み続けられるまち

誰もが安全で快適な暮らしができ、安心していつまでも暮らしたいと感じられるまちを目指します。



決められたルールを守らずに、林や空き地などにごみを捨てたり埋めたりすることを「不法投棄」と言います。不法投棄は、川や海の汚れ、悪臭、土壌汚染、健康被害など様々な問題にもつながります。市では、警察とも協力しながらパトロールなどの対策を行っています。まちなかで小さなごみやペットボトルなどをポイ捨てするのも、不法投棄の1つです。

私たちが安心して気持ちよく住み続けるまちにしていけるために、何ができるでしょうか？



市が取り組むこと

9 安全に暮らせるまちづくり

大気や水を汚さない、騒音や振動を防ぐなど、安心して暮らせるまちづくりを進めます。



10 良好な生活環境

まちの清掃運動など美しいまちづくりのための活動や、市民のマナー向上など、良好な生活環境を守り育てる取組を進めます。

「美しいまちづくりまかせて！」事業
公園や歩道などのゴミ拾い、樹木の水やり、除草など、市民の無償ボランティア活動を支援しています。

汚れた水を流さないように工夫しよう。

あぶらよご油汚れなどは洗剤で洗う前にふき取るといいよ!



空気のごち、くさいにおい、おおきな音などでまわりに迷惑をかけるのはやめよう。



行動しよう!



ごみのポイ捨てはやめよう。



ネコは部屋の中で飼いましょう。



犬は必ずリードをつけましょう。

ペットの飼育マナーを守ろう。

みんなで取り組む環境活動のまち

市民・事業者・行政が環境について勉強したり環境を守ることに取り組んだりし、将来の世代に豊かな環境を伝えていくまちを目指します。

八幡市では、市民や市民団体が、子どもたちを対象にした環境教育を行ったり、地域での清掃活動に取り組んだりしています。環境問題を解決したり、美しいまちをつくるには、ひとりひとりが環境について考えて学習したり、活動に参加したりすることが大切です。八幡市の環境について楽しく学べる絵本やかるたで、環境のために自分ができることを考えてみませんか。



『やわたエコかるた』



←ここからダウンロード
できるよ！



環境教育絵本
『やわたのまちをしらべてみよう!』

市が取り組むこと

11 環境教育・
環境学習

子どもから高齢者まで、環境に関心を持ち、環境問題について考え行動できる人づくりを進めます。また、市民や事業者に積極的に環境情報を発信します。



八幡市環境市民ネット

12 環境に配慮
した活動

環境保全活動に参加する人を増やし、活動を担う人づくりを進めます。地域の環境づくりを支える事業者の環境活動や環境経営を支援します。

市民・事業者・行政が力をあわせ環境保全活動に取り組む組織。保育園や幼稚園などでの地球レンジャーによる環境教育、グリーンカーテン講習会など様々な活動を実施。

学校の授業やインターネットで環境やエネルギーについて学んでみよう。



「こども環境白書」

小学校高学年以上の子どもの主な対象として、今、起きている環境問題を分かりやすく理解してもらうために、環境教育用の冊子として、環境省が作成しているものです。



地域でどんな環境活動が行われているか、調べてみよう。

やわた市環境市民
ネットが
いろいろな活動
をしているよ！



行動しよう！



小学生でも参加できる活動がいろいろあるよ！



花壇づくりやごみ拾いなど、地域で行われている活動に参加してみよう



環境に配慮した活動を行っている企業を応援しよう